

のぞみ



カトリック
道後教会だより

クリスマス おめでとう!



道後教会担当司祭
川上 栄 治

クリスマスはイエス・キリストが生まれた日のことです。イエス・キリストは神の子でありながら、人間となつて、わたしたちのために生まれました。それは、神がこの世界を愛してくださったしるしです。だから、キリストが神がわたしたちを見捨てることか決してないと信じています。たとえ、現代の世界で戦争が起こり続けても、神が完全な平和を実現してくださるとキリスト教は信じています。

今、シリアやパレスチナでは戦争のために、多くの人が亡くなり、家を失っています。それ以外の地域でも、テロのために、多くの人が犠牲になっています。政治家たちは平和を実現する努力をしているにもかかわらず、状況は一向に改善する気配はありません。



昨年のミサ

イブのミサ後は温かい豚汁
ミサ後は、豚汁で暖まって
お帰りください。
マドレーヌもプレゼント。

世界に平和が訪れますように

この状況の中で、キリスト教信者は教会で平和のために祈りをささげます。「祈りによって平和が実現するのか」と思われるかもしれません。祈りは平和を実現するための直接的な行為とは言えません。けれども、「祈り」

によって、わたしたちはそれぞれの違いを乗り越えて、心を一つに合わせることができます。そして一つになった心で、キリスト教信者は神がこの世界に平和を実現してくださるよう祈るのです。

12月24日の夜のミサに読まれる福音書(イエスのメッセージが書かれている書物)には「神に栄光、地に平和」という言葉があります。これは現代社会に投げかけられるメッセージです。つまり、「神」が本当に神としてあがめられるとき、この世界に平和が訪れるのです。この世界で平和を実現しようとする努力はほとんど「人間の利害関係」に左右されます。それでは完全な平和は実現できないのです。神があがめられ、わたしたちが一つとなつて神を信じて祈りをささげるとき、世界に平和が少しずつやって来るとキリスト教は信じています。それがキリスト教信者がミサに来る理由なのです。

〈クリスマスミサのご案内〉

- ◆クリスマス・イブのミサ
12月24日(水) 午後7時
- ◆クリスマス・日中のミサ
12月25日(木) 午前11時

ですから、皆さん、12月24日の夜、一度教会に足を運んでみてください。戦争が絶えない世界に神が平和をもたらしてくださることを信じ、心を一つにして祈る時を、共に過ごしてみませんか。カトリック道後教会は、皆さんのお越しをお待ちしています。



〈道後教会からのお知らせ〉

キリスト教について 勉強してみませんか

- ◆キリスト教入門講座◆
毎月 第2・第4土曜日
午前10時～11時

他に、日曜日・平日の都合のよい時間にも開きますので、ご相談ください。

- ・場所 道後教会
- ・講師 道後教会担当司祭 及び 信徒
- ・対象 洗礼を受けていない方
まずは、当教会へ(電話かFAX)お問い合わせください。
電話番号など下欄参照。

◆ミサ時間◆

- ・日曜日 午前11時
- ・金曜日 午前10時
- (金曜日は、司祭の都合により中止の時あり)

◆土曜談話室(悩み相談)◆

- ・第1・第3土曜日
午前10時～12時
- ・カウンセラーには守秘義務があります。

11月16日(日)

カトリック道後教会でバザー

好評の手作りカレー、マドレーヌ、東北物産フェアも



昨年(2013年)のバザー風景

しんでいます。道後教会では支援のバザーを今年も続けることを決めました。

バザーは今回も『絶品の味』と好評の手作りカレー、教会伝統のおいしいマドレーヌのほかドミニカンクッキーなど各地修道院の品物を販売、ほかに余剰品即売、かわいい人形やニット品が並ぶ人気の手作りコーナーもあります。

また被災地支援のため『東北物産フェア』も設けられます。当地のニンジン、ダイコン、ゴボウなどの乾燥野菜や被災者手づくりの『ふくろうのストラップ』など手芸品も並びます。被災地域再建支援のため石巻市の業者の味噌、醤油、白だし、あわせ酢なども販売します。ぜひご購入ください。



東北物産フェア

宮城や福島へ支援の手



仮設住宅の人々の花見風景

毎年、ステンドグラスが美しい道後教会の聖堂も一般公開されます。ご家族で聖書の世界を鑑賞してみてください。なお、今年は聖母幼稚園のコーナーは正午に閉店します。

楽しい花見会ができた 仮設住宅の人ら大喜び

道後教会では被災者支援活動として、宮城の『八木山オリブの会』、福島の『白河みみずくの会』などのボランティアグループへ募金やバザーの収益金を送って支援しています。

福島県の鮫川村では震災や原発事故などで生活の場を奪われ失意の中にいる人々が健康な心を取り戻す祈りと希望の場『知足庵』をスタートさせました。

宮城県の大田町では仮設住宅の人々の心が安らぐ花見会を開いた。当日はともに歌い、話が盛り上がり普段のストレスを発散できたとみんな大喜びでした。

また石巻市で工場が全壊した老舗醸造業者も支援。今回のバザーで当社の味噌や醤油などを販売します。ご協力お願いします。

東日本大震災 苦しみの中で生きる被災者に支援を

カトリック道後教会では今年も11月16日(日)に隣の聖母幼稚園と共同で恒例のバザーを行います。今回もすべての収益金を使って東日本大震災の被災者と広島の土砂災害被災者を支援、募金も行います。

1万8千人を超す犠牲者を出した東日本大震災から3年7カ月が過ぎました。復興は進まず、原発事故で生活の場を奪われ、放射能におびえ、心は癒されず仮設住宅で人々は苦

悲惨な土石流被害 — 広島に助けの手を

8月20日の集中豪雨による広島の大規模な土石流被害。予想外の規模で山が崩れ、岩石や土砂は家々を破壊し、人命を奪いました。

死者74人。行方不明の最後の一人が1カ月後にやっと発見されました。突然、家族を失い、住家を流された被災者たちは悲哀の中で苦しんでいます。この人々に支援の手を差し伸べるために募金などご協力ください。

広島(広島市)の土砂災害現場

